

すみれ通信 12月号



すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第126号)

〒 251-0032
藤沢市片瀬339-1
藤沢市医師会館
在宅医療支援センター
TEL 0466-41-9980
FAX 0466-41-9981
✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



第2回多職種懇談会 報告

日 時：令和7年11月6日(木) 19:00～20:30

場 所：藤沢市医師会館2階ホール

対 象：市内在勤の医療介護関係者

テマ：～その人らしいを支えるために～
「ACP」どう取り組んでいますか

参加者：46名 スタッフ5名 計51名

内 容：ACPの再確認 ワーク進め方の説明

ワーク1「自身の日々の取り組み」

ワーク2「確認したACPの多職種共有の仕方」

各グループの発表



参加者状況：

所属先	人数
病院・診療所	16
居宅介護支援事業所	10
訪問看護ステーション	9
地域包括支援センター	5
在宅医療支援センター	3
その他	3

職種	人数
医師	5
看護職	24
ケアマネジャー	11
社会福祉士	3
事務職	3

アンケート内容抜粋：(回収数 43 回収率 93.5%)

- ・医師の思い、ケアマネ・看護師の思い、職種によって考えや思いが異なるが目指すことは患者様がより良く過ごすに直結すると思った
- ・医療者主体ではなく、本人主体であることを忘れないようにする
- ・利用者さん、ご家族とのかかわりの中できっかけとなる言葉を拾い上げられるように心がけたい
- ・難しいこととは思うが、救急搬送にならず本人・家族も意思をはっきり表明している在宅の患者さんについてはACPで自宅 ⇄ 訪問医で最期が迎えられる仕組みが整うと良いなと思う



R7年度 第3回市民公開講座のご案内

最期まで自分らしい生き方 ～知って安心！在宅医療～



講師：湘南台スマイルクリニック 田口 篤 医師

日時：令和8年1月17日（土）10:00～11:30

場所：湘南台市民センター 地下1階ホール

在宅医療の現場から


いしい内科医院 石井由佳

当院は2002年に片瀬江ノ島で開院後、5年ほどして在宅医療支援診療所の届出をしましたが、その前も往診として24時間対応の診療やご相談を受けていました。それならばこの届出をした方がいいと、資料を持って来て親身に相談に乗り私の背中を押してくれたのはご近所の薬剤師の先生でした。当時当院は深刻な水害から立ち直ったばかりで、届出作業はやや大変だと感じたものの、診療実態に見合った届出をしておくことが大事だと言われ深く納得したことを思い出します。今こうして医師会の在宅担当専務理事のお仕事をさせて頂いているのもこの薬局の先生のおかげだと心から感謝しています。

まだ在宅支援診療所ではなかったある夏休み中の昼下がり、ご近所の独居のおばあちゃんから携帯に連絡が入りました。「何だか目が腫れてよく見えないのよ」とおっしゃるのでとりあえず訪問しました。熱はありませんでしたが目頭の辺りが大きく腫れあがっていました。近くの眼科さんはどこもお盆期間でお休み。ご家族にも連絡がつかず、困り果てて市民病院にご連絡したところ、眼科救急外来受診を許可してくれました。今ならケアマネさんにご連絡して病院への紹介状をお書きすれば何とかしてくださる所ですが、この時は私も経験が浅く、他に方法を思いつかず、自分で書いた紹介状を持って患者さんをマイカーに乗せて市民病院に向かいました。受付後診察・処置が終わりお薬を頂いて会計して患者さんをご自宅まで送つて、私が帰宅できたのは夕刻でした。コスパとしては今一つな午後でしたが、患者さんからの篤いお礼のお言葉をかみしめたのを今でもよく覚えています。そしてこの経験があるからこそ、電話一つで訪問看護師さんやケアマネさんや地域包括センターにご相談ができるてその時のベストな対応をして頂ける藤沢市の今の体制に感謝して余りある私です。

これからも多職種との連携を大切に診療して行きたいと思っています。
どうぞよろしくお願ひ致します。

